

学位論文内容の要約

愛知学院大学

乙 第 号	論文提出者 富野雅史
論文題目 塩化セチルピリジニウムを添加した ガッタパーチャの抗菌性評価	

研究では、高い抗菌性を有する根管充填剤を開発することを目的とし、低温軟化型ガッタパーチャに抗菌性物質として塩化セチルピリニジウム (CPC) を重量比で 0.05%、0.2%、および 0.8%添加し、感染根管内に高頻度で検出されるグラム陽性菌，グラム陰性菌，および真菌に対する抗菌性を評価した。

抗菌試験は生菌数、即ち、Colony Forming Unit (CFU) で評価を行った。その結果、0.05%以上の CPC をガッタパーチャに添加することにより抗菌性を示すこと、特に、0.8%の添加では検討した全ての微生物に対して高い抗菌性を示すことが明らかとなった。また、抗菌効果の持続性を評価する実験では、培養液の交換を 6 回繰り返したが、その間、抗菌効果は持続していることを確認した。

以上の結果から、CPC をガッタパーチャへ添加することにより、十分な抗菌性を有する根管充填剤を開発し得ると考えられ、根管治療をより成功に導く可能性が示唆された。